

「東北地区聾学校 PTA 連合会研修大会八戸大会に参加して」

去る令和7年7月11日（金）から12日（土）にかけて、八戸市を会場に「第33回東北地区聾学校 PTA 連合会研修大会八戸大会」が開催されました。私も校長としてこの大会に参加させていただき、多くの保護者や関係者の皆様と貴重な時間を共有することができました。

今回の大会は、「社会の中でたくましく生きる聴覚障がい児を育むために」を大会主題とし、東北地区の聴覚障がい児（者）をもつ保護者が一堂に会し、障がいによる様々な困難を改善・克服し自立を図るための情報交換、そして家庭における教育の在り方について研修を深めることを目的としていました。

1日目は開会式に続き、協議会が開催されました。八戸聾学校の保護者の方からの話題提起の後、グループ協議が行われました。参加者の皆様が日頃抱える悩みや課題、そしてそれらを乗り越えるための工夫について活発な意見交換がなされました。周囲の理解を得るためにしてきたこと、将来のために取り組んだことなど、多岐にわたる内容が提起されました。どの保護者の方からも、お子様の成長を願い、可能性を信じ、共に歩もうとする強い意志と深い愛情がひしひしと伝わってきました。

2日目は、亜細亜大学経営学部経営学科特任准教授の橋本一郎氏の講演でした。橋本先生の講演は、具体的な事例を交えながら、社会の中で聴覚障がいをもつ子どもたちが自立し、豊かな人生を送るために、家庭や学校、そして社会全体がどのように関わっていくべきかについて深く考えさせられる内容でした。

この二日間を通して、私は保護者の皆様の「声」に直接触れることができました。お子様の小さな成長を心から喜び、時には壁にぶつかりながらも、決して諦めずに前向きに進んでいこうとするその姿は、私たち教職員にとって大きな励みとなります。聴覚障がいをもつお子様を育てるという経験は、困難を伴うこともあると思いますが、一方で計り知れないほど深い愛情と絆を生み出すものであると改めて感じました。保護者の皆様の愛情の深さを再認識できた、非常に有意義な大会でした。

今回の大会で得られた学びや気づきを、今後の学校運営や子どもたちへの指導に生かしていきたいと思いました。保護者の皆様との連携を一層密にし、子どもたちが社会の中でたくましく、そして幸せに生きていけるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思いました。

